

◇ 教員免許更新講習シラバス(選択領域分)

講座内容についての問い合わせ先…koushin@nara-edu.ac.jp(奈良教育大学)

<S007>

講習名	主な受講対象者	時間	講習形態
ESD-SDGsの基礎	全教諭	6H	インターネット講習 (オンデマンド型)
開設期間	講師名(所属・職名等)		
令和3年8月11日～10月11日	中澤 静男(奈良教育大学・准教授) 大西 浩明(奈良教育大学・特任准教授)		
定員			
40人			
【講習の概要】			
現在、世界中でSDGs(持続可能な開発目標)達成のための取組が実施されている。文部科学省では、ESD(持続可能な開発のための教育)をSDGsに貢献する教育と位置づける他、新学習指導要領の前文に「持続可能な社会の創り手」の育成が明記された。本講義では、①地球的諸課題、②ESDの学習理論、③ESDの優良実践事例の分析、④ESD学習指導案の作成について理解を深めることをねらいとし、本学のESDティーチャープログラムと関連付けて実施する。			
【小テーマ①】 地球的諸課題とSDGsの理解促進		1. 5H (担当講師:中澤 静男)	
講習形態	講義形式		
講習内容	SDGsは17の目標と169のターゲットからつらわれている。SDGsが作成される背景である地球的諸課題を紹介することで、ESDの授業づくりを行う際のテーマへの感心を高める。具体的には、温暖化・生物多様性の劣化・資源の枯渇といった環境問題、食料問題・テロ・紛争といった社会問題、貧困・格差社会などの経済問題を紹介するとともに、それらのつながりや自分の生活との関係について考える機会とする		
到達目標・確認指標	SDGsの背景である地球的諸課題と自分の生活との関係を理解できる。		
キーワード	SDGs、気候変動、食品ロス、格差社会、ソサイエティ5.0		
【小テーマ②】 ESDの学習理論を理解する		1. 5H (担当講師:中澤 静男)	
講習形態	講義形式		
講習内容	教員が地域教材を用いて教材開発するためには、持続可能性に関する価値観に基づく、ソマティック・マーカーを育てる必要がある。また、地域の課題を見いだすためには、ESDの視点が必要である。さらに単元をデザインするに当たり、ESDで育てたい資質・能力に関する理解も求められる。これらのESDの学習理論について紹介する。		
到達目標・確認指標	子どもの持続可能性に関する価値観と行動の変容を促すESDの理論について理解する。		
キーワード	ESDの価値観、視点、(見方・考え方)、資質・能力、SDGsとの関連づけ		
【小テーマ③】 ESDの優良実践事例を検討する		1. 5H (担当講師:大西 浩明)	
講習形態	講義形式		
講習内容	2005年～2014年のESDの10年の締めくくりとして日本においてESDに関するユネスコ世界会議が開催されたこともあり、すでにESDの先進的な取組が存在する。これらの実践事例について、ESDの価値観、視点、資質能力、SDGsとの関連などの側面から検討し、ESD授業実践への理解を促進する。		
到達目標・確認指標	ESD授業実践の単元デザイン、地域連携や地域人材との協働、対話的な授業方法などを理解する		
キーワード	多様なステークホルダー、主体的・対話的で深い学び、子どもの変容を把握する		
【小テーマ④】 地域資源を活用したESD授業構想案の作成		1. 5H (担当講師:大西 浩明)	
講習形態	講義形式		
講習内容	ESDの授業実践には、①総合的な学習の時間での実践と②教科教育における実践がある。①では、地域の課題解決を目指した問題解決型の学習を展開することで、ESDで育てたい価値観や視点、資質・能力の養成を目指す。②では学習内容が学習指導要領で決められているため、ESDで育てたい資質・能力を教科において養うこととなる。両方とも、地域資源を開発することが子どもの学習意欲を向上させる。地域資源を用いたESD授業構想案を各自で作成する。		
到達目標・確認指標	ESD授業構想案の作成の仕方を理解し、地域資源を用いた指導略案を作成する。		
キーワード	地域資源、総合的な学習の時間におけるESD、教科教育におけるESD		
試験方法	各小テーマの最後に10分程度の筆記試験を行う。		
成績評価の方法・基準等	地球的諸課題と自分との関わりについての考察、及びESDで育てたい価値観、視点、資質・能力など、各講義内容を理解して、教育的な考察が加えられているか否かについて問います。 演習課題及び試験の成績で判断します(演習課題10点+試験15点×4テーマ=100点満点)。評価基準は、総合点で60点以上を合格とします。		